

ほたる観賞マップ°

HOTARU MAP

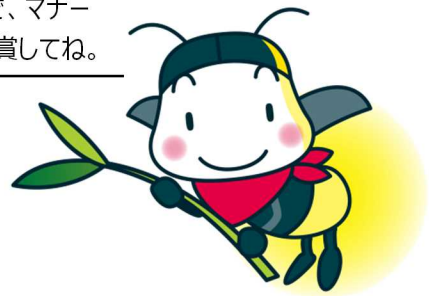
ようこそ北房へ！

ゆっくりとホタルの乱舞をお楽しみください。

家の明かりや街路灯を消すなど、地域全体でホタルを守り観賞しやすい環境づくりに取り組んでいます。足元には十分注意して、ホタルをお楽しみください。

観賞路にはトイレがありません。ホタル観賞ご出発前には、北房文化センター(北房振興局隣)でお手洗いを済ませてください。

住宅地の中なので、マナーを守って静かに観賞してね。



[参考] ・北房振興局～清水橋 ▶ 700m ・清水橋～ほたる公園 ▶ 900m

ほくぼうほたる豆知識

HOKUBO HOTARU

北房地域に生息しているホタルは？

ホタルは地球上に約2,000種類、日本には約40種類いるといわれています。

北房地域には、ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタル、オバボタル、オオマドボタルが生息しています。いちばん多いのはゲンジボタルで、毎年5月下旬から飛び始めて、6月の中旬にピークを迎えます。その他ムネクリイロボタル、クロクシヒゲボタルなどもいるといわれています。

備中川は「ホタルの川」

北房に生息しているホタルの中でも、特に有名なのがゲンジボタルです。北房地域を流れる備中川(びっちゅうがわ)とその支流の中津井川や宮地川など、流域全体でその姿を見ることができます。ホタルの光の帯が数キロにも渡って続き、その幻想的な風景を見ようと毎年全国各地から観賞客が訪れます。

ホタル観賞路のある砦部(あざえ)地区では川沿いに山が迫っており、絶好の観賞スポットとなっています。川面だけでなく山にも向かって舞うホタル。目の前に広がる立体的なホタルの光跡はここにしかないものです。

地域全体でホタルを守っています

ホタル観賞路を散策していると、ほんのりと道を照らす常夜灯や黒い幕のようなものを見かけるはずです。ホタルの保護や観賞しやすい環境づくりに地域全体で取り組んでいます。

●常夜灯

地元商店会が観賞路の安全確保のために設置。光量を抑えてホタルの求愛行動の邪魔をしないように工夫されています。

●遮光幕

ホタル保護団体が設置。車のヘッドライトなど人工の光が川を照らさないようにしています。

●街路灯のスイッチ

ホタルシーズンには夜間消灯できるように川に近い街路灯にはスイッチをつけています。これもホタル保護団体の取り組みです。

●家々の明かり

ホタル観賞路周辺の家では、川沿いの部屋を消灯したりすだれや暗幕をしたりと、できるだけ家の光が外に漏れないようにしています。

この環境を守るためにご協力ください

★川を照らさない！

足元を照らすのは結構ですが、光を川に向けないように注意しましょう。ちなみに、ホタルはフラッシュ撮影をしても写りません。

★ホタルを採らない！

大切に守ってきたホタルです。採らないでください。

★静かに観賞！

観賞路は住宅地の中です。迷惑にならないようマナーを守って静かに観賞しましょう。

★ごみを捨てない！

ホタルの生息環境を汚さないためにも、ごみは持ち帰りましょう。

どうして光るの？

ホタルには発光細胞と反射細胞でできている発光組織があります。その中で化学反応を起こして光をつくり、求愛活動のために光るといわれています。

飛んでいるのは？

飛んでいるのはほとんどオスで、メスボタルの多くは草むらにとまっています。メスは全体の1割程度だとか。

